

株式会社ジェイコムさいたま 北局 南局

2013 年度(平成 25 年) 放送番組審議会 議事録

2013 年度の放送番組審議会は、2014 年 7 月 2 日(水)にジェイコムさいたま南局で開催された。

<放送番組審議会委員>

ご出席 (五十音順)

宇 高 良 哲 様	内 木 滋 郎 様	大 島 清 様
斎 藤 陽 子 様	清 水 志 摩 子 様	高 梨 邦 彦 様
平 沼 大 二 郎 様	守 屋 二 郎 様	

事業者側から現況報告及び J:COM チャンネルの取り組みにつき、報告があった。

【質疑応答】

(昨年の「さいたまクリテリウム」の課題ほか)

委員 さいたまクリテリウムは、もっと事前の告知が必要であった。

クリテリウムのレース現場での映像(大型モニター)が少なかった。モニターの設置はどこ
の管轄だろうか。

また、前夜祭での選手インタビューや優勝争い、レース予想などを取材し、放送してもらえ
れば、更に盛り上がったのではないだろうか。

今年、10 月に大相撲の秋巡業「さいたま場所」があるので、取材をお願いしたい。

来年春には、北陸新幹線が開通するが、「埼玉」が素通りされないよう、魅力を PR して欲
しい。さいたま市は、“住みやすい都市”と言われるが、なかなか外から人を呼び込むことが
不足している。

再来年には、国際美術展覧会である(仮称)「さいたまトリエンナーレ」が市民参加型で開催
する予定である。

事業者 さいたまクリテリウム場内、大型モニター設置の管轄は、主催者側となる。

昨年、会場以外では、J:COM として大宮カタクラと浦和パルコで大型モニターを設置し、パ
ブリック・ビューイングを実施した。

北陸新幹線開通時には、埼玉県下で降りてもらえるよう、魅力を発信したい。

(知名度のあるタレント起用)

委員 J:COM の番組には知名度のあるスター(タレント)も起用して欲しい。出演メンバーが地味である。

事業者 これまでは、各地の狭いエリア内で、バラバラで放送していたため、なかなか有名タレントは出演してもらえなかった。最近になり、全国放送展開が出来るようになって、タレント事務所とも話し合いのチャンスが生まれている。

日本の全世帯 5,200 万世帯のおおよそ半部分が、CATV 局加入世帯(2,700 万世帯)であり、更にその半分の 1,350 万世帯を J:COM がカバーしている。全国の2割5分ほどが J:COM の視聴可能エリアとなる。地上波のネットワークと比べても、放送エリアのインフラは整ってきた。ご当地出身の看板タレントが起用できれば、尚良い。今後はご期待いただきたい。

地元さいたま出身のダイヤモンド☆ユカイ氏は、4月より関東広域放送の歴史番組「歴史浪漫」に出演中である。

(J-SPORTS との関係性)

委員 J-SPORTS との関係は。

事業者 J-SPORTS は、J:COM グループの番組制作供給会社である。現在、全て BS 放送で4チャンネルを持っている。今後は、チャンネル毎の特色をつけていきたい。

(医師による「健康情報」コーナー化)

委員 全市民が対象となるようなテーマということで、情報番組「ギュギュっとさいたま」内で検診、予防接種、熱中症、認知症の取組みなど豊富なテーマから、週1回程度でコーナー化できないか。費用もかからない。

事業者 健康情報は、説得力のある医師が出演してコメントいただく形で検討したい。

(各商店街の「クリテリウムさいたま」への応援体制)

委員 クリテリウムについては、今年もさいたま市商店会として応援する。

さいたま市全体の商店街活性化キャンペーンに合わせて、クリテリウム直前の10月10日ごろから売り出しと一緒に応援を実施する。各商店街では、ノボリを制作し、お客さんにはクリアファイルもお渡しして盛り上げたい。与野周辺商店会では、街路灯にフラッグをつけることも決定している。こうした応援の様子は、番組取材もしていただきたい。

(長期間に渡る人物ドキュメンタリー番組)

委員 地味でも、1年間、埼玉ならではのテーマやストーリーを決めて、一人の対象をずっと撮り続けるドキュメンタリー番組が宝物になるのではないか。そのためには、少なくとも10年は継続して作らないといけない。地元のスーパースターの始まりから盛り上げて欲しい。

事業者 今秋にドキュメンタリー番組の制作を予定している。特色ある飲食店を紹介する番組だが、長期取材による番組となる。

制作の様子は徐々に紹介していき、最終的に30分、1時間の番組に仕上げる予定である。また、同時に市内、県内の自然、景色を収録することは映像財産にもなる。

(世界視野のドキュメンタリー番組も)

委員 ドキュメンタリーであれば、1年かけて世界の若者や子供たち、経営者の考え方を取材するようなワールドワイドなインパクトのある番組も制作して欲しい。

事業者 チャンネルが2つあるので、制作する番組は、全国向けと地域向けとで使い分けをしたい。

(有名タレントによる地域紹介番組)

委員 NHKの「鶴瓶の家族に乾杯」のように、知名度のあるタレントが埼玉県下を巡る番組は面白いのではないか。

事業者 J:COMチャンネルでも、3月まで村野武範出演で関東各地の料理を紹介する番組「馳走百景」を放送してきた。

現在は、菊田あや子という女性タレント・リポーターが観光地を紹介する番組もあるが、こうしたジャンルの番組に、より知名度のあるタレントを起用して、地域に触れる番組作りも可能である。

(熊谷の国宝建造物の取材)

委員 県下で一番新しい国宝である熊谷市妻沼の歓喜院(かんぎいん)聖天堂(しょうでんどう)があるが、テレビ映像的にも綺麗な建造物である。目に訴えられる建物である。埼玉新聞社も積極的に取り上げている。建造物の現場監督は、富岡製糸場も担当しておられる。うまく活用したら、良い情報をもらえるはずである。

事業者 埼玉新聞社と連携して制作している番組があるので、番組内連動を念頭におき取材したい。

(地域の祭り中継、青少年の育成活動取材)

委員 有名な祭りを放送するだけでなく、範囲を狭くして、地域密着の手作りの祭りも取上げて欲しい。青少年の健全育成に努力しておられる団体が多数ある。ボーイスカウト含め

地区会のこうした活動も拾い上げていただきたい。

(商店街の衰退)

委員 埼玉県では、商店街活性化条例が施行されたが、平成18年当時1,000以上あった商店街が23年には950になり、更に廃業で30、40が減っている。

大型店の影響もあるが、後継者の問題が大きい。店主は高齢者が多く、ネットの使い方が出来ていない。J:COMにも番組取材を進めて欲しい。商店街を落ちこぼれさせないようにしたい。

(隠れた自然情報の取材)

委員 祭り、花火などの年中行事の情報は、WEBにアップされた際はそれなりのアクセスもあると思われるが、隠れた自然を取上げるとユニークさが出るのでは。蛍鑑賞など、夏休みに過ごす体験など、資料を整理して報道したら、親御さんも有難いのではないか。キャンプ場の利用方法の紹介もいい。

(時間テロップ・子供向け番組)

委員 朝の情報番組「ギュギュっとさいたま」放送時には、時間テロップを入れて欲しい。子供向け番組も増やしてもらいたい。

事業者 子供向けということを見ると、ご加入者の方々にはアニメ専門チャンネルなどをご視聴いただく機会が多いので、コミチャンでは、アニメでなく、NHK・Eテレのように子供向けの教育番組を検討したい。子供向け番組であっても、大人が視ても楽しい番組作りになっており、視聴ターゲットにも合致する。

(県内技術ブランドの取材)

委員 埼玉県振興公社では、埼玉県の手法をブランド化する取組みをしている。無農薬、こんにやく加工技術など知られていない凄いい技術が多数ある。番組取材してもらえれば、面白い。リスト化もされている。

事業者 貴重な情報であり、調べて対応させていただきたい。

(振込め詐欺対策)

委員 振込め詐欺が埼玉県では全国ワースト2位である。防止のための啓蒙活動を出来ないか。

事業者 さいたま市は、個人金融資産が集中しているエリアである。県警より、振込み詐

欺の手口を知らせる PR 企画が J:COM に持ち込まれており、協議を始めたところである。
どんな内容で、どの時間帯に放送するか検討したい。

(高齢者が理解できる PR を)

委員 啓蒙する際は、難しい法律論でなく、お年寄りが理解できるやり方で PR していただきたい。

以上